

## 血液科

### 1. スタッフ（平成23年4月1日現在）

科 長（教 授）小澤 敬也  
 外来医長（講 師）尾崎 勝俊  
 病棟医長（病院助教）翁 家国  
 医 員（教 授）坂田 洋一（兼）  
                   古川 雄祐（兼）  
                   室井 一男（兼）  
                   （准 教授）永井 正  
                   三室 淳（兼）  
                   （講 師）竹田津文俊（兼）  
                   森 政樹  
                   鈴木 隆浩  
                   外島 正樹（兼）  
                   上田 真寿（兼）  
                   窓岩 清治（兼）  
                   （学内講師）大森 司（兼）  
                   大嶺 謙  
                   （助 教）松山 智洋  
 病院助教 山本 千鶴（兼）  
                   藤原慎一郎  
                   畑野かおる  
                   多々良礼音  
                   菊池 裕二（派遣）  
                   目黒 明子  
                   上原 英輔（派遣）  
                   岡部 寛  
                   松 春子（派遣）  
 シニアレジデント 5人

### 2. 診療科の特徴

・造血器腫瘍を初めとするすべての血液疾患に対して、充実したスタッフが連携して診療を行っている。急性白血病、悪性リンパ腫に対する化学療法、抗体療法、放射線療法などの集学的治療、抗胸腺細胞免疫グロブリンによる再生不良性貧血の免疫抑制療法、多発性骨髄腫に対するベルケイド、レナリドマイド、サリドマイドなどの新規治療等の他にミニ移植、臍帯血移植を含む同種移植、自家移植を行い、良好な成績を得ている。

#### ・認定施設

日本血液学会認定研修施設  
 日本輸血細胞治療学会認定教育施設  
 日本臨床腫瘍学会認定研修施設  
 日本がん治療認定医機構認定研修施設

#### ・認定医

日本血液学会専門医 小澤 敬也 他15人  
 日本血液学会指導医 小澤 敬也 他8人  
 日本内科学会認定医 小澤 敬也 他21人  
 日本内科学会専門医 森 政樹 他5人  
 日本内科学会指導医 小澤 敬也 他12人  
 日本輸血学会認定医 室井 一男 他1人  
 日本がん治療認定医 森 政樹 他1人  
 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 森 政樹

### 3. 診療実績・クリニカルインディケータ

#### 1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新来患者数 746人  
 再来患者数 17,996人  
 紹介率 63.0%

#### 2) 入院患者数（病名別）

病 名	患者数
急性骨髄性白血病	120
急性リンパ性白血病	54
骨髄異形成症候群	29
非ホジキンリンパ腫	159
ホジキンリンパ腫	1
多発性骨髄腫	27
再生不良性貧血	9
特発性血小板減少性紫斑病	13
移植ドナー	11
造血幹細胞移植患者	30
合 計	453

#### 3) 手術症例病名別件数

病 名	人 数
胆嚢摘出	1
脾臓摘出	3
治療前の消化管穿孔	1
大腿骨頭置換	1
水晶体除去	1
合 計	7

#### 4) 治療成績

急性骨髄性白血病初回寛解率 79.4%  
 代表的悪性リンパ腫初回寛解率 87.0%

## 5) 合併症例 (外科転科例)

病名	人数
胆嚢炎によって胆嚢摘出	1
治療前の消化管穿孔・出血	1
水晶体除去	1
合計	3

## 6) 死亡症例・死因・剖検数・剖検率

白血病、骨髄異形成症候群	18
悪性リンパ腫	5
EBウイルス持続感染	1
再生不良性貧血	1
多発性骨髄腫	4
マクログロブリン血症	1
合計	31

<剖検数> 3名

<剖検率> 10.0%

## 7) 主な検査・処置・治療件数

骨髄穿刺	約1,000件
骨髄生検	約50件
遺伝子診断	約100件
細胞表面抗原解析	約400件
白血病初回治療	31件
悪性リンパ腫初回治療	67件
ATG療法	5件
造血幹細胞移植 (合計)	30件
同種移植	23件
ミニ移植	7件
臍帯血移植	4件
自家移植	3件
治験AMN107 (ニロチニブ)	3件 (継続)
治験CC-5013	1件
治験GSK1841157	今後開始
治験JC0707	1件

## 8) カンファレンス症例

<内科モーニングカンファレンス>

- ・肺門部異常陰影
- ・発熱、汎血球減少、多臓器不全
- ・頸部リンパ節腫大、高カルシウム血症
- ・後腹膜巨大腫瘍
- ・口腔内出血・胸痛
- ・左睾丸腫脹
- ・全身倦怠感
- ・腹痛・下痢
- ・痙攣
- ・全身倦怠感・皮下腫脹
- ・血液検査異常 (貧血)
- ・腰背部痛
- ・健診異常 (胸部X線異常)
- ・労作時息切れ

- ・右頸部腫瘍

<血液科症例検討会>

- ・難治性特発性血小板減少性紫斑病
- ・難治性白血病—寛解導入不応
- ・AML-cuplike
- ・high risk ホジキンリンパ腫
- ・同種造血幹細胞移植後の神経症状
- ・寒冷凝集素症に対するリツキシマブ
- ・発熱性好中球減少症の診断と治療
- ・CLL関連疾患
- ・骨髄腫の髄外病変
- ・CMLの治療戦略
- ・TTPの診断・治療
- ・AIHAの診断
- ・原因不明の血小板減少・脾腫・リンパ節腫脹の一例
- ・脾臓B細胞リンパ腫
- ・初発LPLの治療戦略
- ・ITPの治療

## 4. 事業計画・来年の目標等

各種治験に積極的に参加して新規治療薬の標準化に努める。また、本年度まで「特発性造血障害に関する調査研究」班 (研究代表者: 小澤敬也教授) の主導的役割を果たしてきたが、今後も再生不良性貧血、骨髄異形成症候群などの難治性疾患治療法の先駆的開発を行っていく。鉄過剰症治療に関して引き続き研究を進めていく。

急性白血病、悪性リンパ腫という症例数の多い疾患に対しては、新規分子標的療法の導入、造血幹細胞移植療法の適応拡大による治療成績向上を目指す。同時に移植後の難治性GVHD (移植片対宿主病) に対する治療、特に間葉系幹細胞を用いた治療についての臨床試験を推進する。